

4. 5年生向け

学校図書館だより

令和8年3月 座間市立東原小学校図書館



一年間がんばりました！！



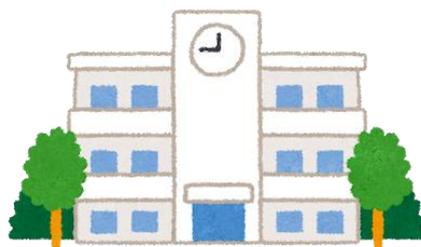
き
基

すぎもと みゆき
杉本 深由起

基本は つねに
土のうえ
じめんに
りょうあし ふんばって

よこぼう
たてぼう
ななめぼう
しっかりくんだ やぐらから

うちゅうに
ロケット うちあげろ



すぎもと みゆき 杉本 深由起詩集 いつだって スタートライン りろんしゃ 理論社 より



理論社

すぎもと みゆき ししゅう
『杉本 深由起詩集』

いつだって スタートライン』

こばやし まさよ
小林 雅代 絵



あかね書房

『漢字はうたう』 すぎもと みゆき 杉本 深由起 詩

よしだ ひさのり 吉田 尚令 絵

もうすぐ新学年です。一年をふりかえてみてどうでしたか？いろいろなことに挑戦して、がんばったことやできるようになったことなど、たくさんのが自分の力になりましたね。この、すぎもと みゆき 杉本深由起さんの「基」の詩のように、新学年に向けてますます大きく羽ばたいていってください。

へんきやく

本の返却は、3月25日(水)までになります。
新しい学年になる前に、必ず本を返しましょう。





『あさになったので
まどをあけますよ』
あらい りょうじ
荒井 良二 作

なにげない日々の繰り返し。そのなかにごそある、たしかな希望。生きることのよろこび。きみのまちは、晴れてるかな？

大気にみなぎる光と気配、風景の力を描いた絵本。



偕成社



『風のことは 空のことは
語りかける辞典』

おさだ ひろし
長田 弘 詩 いせ ひでこ 絵

雨のしずくのむこうに見えるのは、いつも心の風景です。雨が降ってくると、なぜだろう、いままで気づかなかった自分の感情に気づく。

気持ちが洗われるのかな。（「雨」より）なにげなくページをひらいたら空からことばがきこえてくる。



講談社

『少年とクスノキ』

ひがしの けいご
東野 圭吾 文 よしだ るみ 絵

大切な人たちを失ってしまった少年は、将来が不安で泣いていました。旅人から、未来を見せてくれるクスノキの女神に会いに行くよう勧められます。様々な困難を乗り越え、出会えたクスノキの女神に未来を見せてもらいますが…。



実業之日本社

ありがとうを
感じられる
本



『あいしてくれてありがとう』

みやにし たつや さく え
宮西 達也 作、絵

きらわれもののティラノサウルスには、ともだちがいませんでした。あるしずかなよる、ティラノサウルスが「さみしい」とつぶやくと、「わたしも…」というこえがきこえて…。

ポプラ社

『海よ光れ！』

3・11被災者を励ました学級新聞』
たざわ さつき
田沢 五月 文

東日本大震災の直後から避難所となった大沢小学校。地域の被災者といっしょに寝泊まりをしていた子どもたちの思いと、子どもたちが今の自分たちに何ができるのかを考え、取り組んだことを伝える。



国土社

『ありがとう、
フォルカーせんせい』

パトリシア・ポラッコ 作、絵
かさき やすこ やく
香咲 弥須子 訳

トリシャはいつまでたっても字が読めません。トリシャにとって字はくねくねした形をしたものでしかなかったのです。いじめられ、悲しい思いをしますが、フォルカー先生の特訓を受けてから字が読めるようになります…。

岩崎書店